



↑入谷小ホームページへ↑

入小安全便り



令和4年6月8日発行 No.4

文責：安全担当（松岡）

【魔法の「短い言葉」～子供のやる気を出す言葉について～】

子供たちの「安心」と「安全」を守る立場として、今回は「安心」に焦点を当てて保護者の皆様に情報発信をしていきます。

新年度がスタートして2か月が経ちますが、お子様の様子はいかがでしょうか。学習意欲やより良く生きるための力を高めることについて、興味深い記事を見つけたので紹介します。

子供の話を聞くこと

学力を伸ばす親の習慣があるとすると、それは「親が子供の話に耳を傾けること」である。自己肯定感が高い（自分が好き、家族が好き、未来は明るいと思う）という大学生に調査をすると、「自分の親はあれこれ言わずに、自分の話を聞いてくれた。」と話すそうだ。

～中略～

取材を重ねると、自己肯定感が高い大学生の親は「結果」を褒めるのではなく、子供の「能力」を褒めるのだそうだ。

例えば絵画コンクールで入賞した際に「入賞してすごいね。」ではなく、「色彩感覚がすごいね。」と褒めるのだという。

賞を取れるかは、運に左右される。そうした「結果」よりも、子供が持っている「能力」を褒められることで、子供は自信を持ち、さらに「頑張るぞ!」というモチベーションを獲得していく。

子供のやる気を引き出す10の言葉掛け

「子供に繰り返し言った方がいい言葉」を挙げてみる。これは、中学生100人に「親に言われてうれしかった言葉」を聞いた結果から導き出したものだ。

- 1 大好きだよ
- 2 ありがとう
- 3 へえ～、そうなんだ！（その話、もっと聞きたいな）
- 4 やったね！
- 5 すごいね！
- 6 頑張ったな！（または）頑張ってるな！
- 7 ドンマイ！（次に進もう）
- 8 あなたならやれる！
- 9 （結果は気にせず）楽しもう！
- 10 ナイストライ！（または）いい経験になったね！



多くの子供たちは、こうした言葉に対して聞く耳をもたないような振りをする。しかし、実はしっかりと親の言葉を聞いていて、それを記憶しているのだ。

要は、「言葉の魔力」で「生きる力」を育てているのだと思う。

※『プレジデントファミリー2017年秋号』より引用

「聞くこと」と「肯定の言葉を掛けること」から、お子様の自己肯定感を高めてみませんか。

【お知らせ】

安全便り No.2で、通学路の変更に伴って登校の様子を見守ることをお知らせしましたが、児童の歩く様子や地域の方々に歩くことが伝わってきたことから、荒天時のみ見守りをするようにします。引き続き、安全に歩行できるよう、御家庭でもお声掛けをお願いします。